

# リーディング公演『道なき道』

脚本・作曲 高橋悠之輔

出演

青山郁彦（経読）

麻生深月（虚／金城／劇中歌）

高橋悠之輔（夕星／Org.）

木下出（老術師《映像出演》）

花房伸江（Pf.）

スタッフ

動画撮影 大木忠幸

音源作成 Creative Pot Tokyo

字幕監修 高橋公雄

協力 美食彩えごた

依存から自立するために、道なき道を一人で歩まなければならない。その際、自らの「影」と対話をして自己憐憫を拒むことが不可欠だ。受動的な逃避は失望が待っているだけだ。欲したものとして能動的に向かう「孤独の荒野」にこそ「希望」がある。戦いに中心となって臨んできた「老術師」もうしたニヒリズム克服を望んでいる。

「一度何もかもが大崩れしたと感じても、絶望してはいけません。どんな状況に陥っても、必ず希望の明日はやってくるのです」。だが、その歩みは孤独であっても、孤立ではない。「お前の力が必ず必要になる時がやってくる。その時まで。俺を殴りに来るでも好い。殺しにくるでも好い。必ず戻ってくるんだ。手紙を書くからな」。

文芸批評家 佐藤清文

## 道なき道に寄せて

その果てしなき議論を繰り広げているのは彼らではない。登場する「経読」や「金城」、「夕星」とは私たちのことだ。

戦いは終わりを迎えるつある。それはかつての戦争後の状況と重なるが、目に見える物理的・生物的被害はその時と比べて少ない。しかし、今回は戦いが終わっても、解放感がない。闘争の過程の中で気まぐれによる犠牲や責任ある組織への不信が露呈し、虚脱感や戸惑い、空元氣の気分が漂う。

人々を分断し、従属を求めた敵の中心“テルミナ”は死んだが、それで終わりではない。第二、第三のテルミナが生まれないようにしなければならない。そもそも自分たちが当のテルミナになってしまふ可能性もある。そのような誘惑や堕落を防ぐには、自分の中に抱えている「廃墟」に向き合い、デカダンスを自覚しなければならない。

列車の到着が予定の時刻通りとは限らない。終わりが来れば、始まりが続いて現われるという予想は根拠なき楽観論である。古い時代の終焉が自ずと新しい時代の到来をもたらすわけではない。始まりが誰から与えられるものという認識は依存であり、暗黙の従属である。

## Creative Garden とは

Creative Garden は 2021 年 5 月に組織された、芸術家、文学者、批評家などによるアライアンスです。国内で活躍する音楽、美術、演劇、文学、学問などの担い手が参加しています。Creative Garden “Core” はその中核を成すメンバーで、演奏会、舞台、リーディングなどの様々な活動を主催してきました。昨年度は文化庁の Arts for the future の、本年度は Arts for the future2 の補助対象事業に採択されました。

### ●これまでの活動

2021年7月25日

Midsummer Concert ~詩の木陰にて~ 於：光が丘美術館

2021年11月28日

リーディング公演『復活』 於：赤坂ダイニング

2021年12月17日

紡がれる時間 於：OAG ホール

(第1部 モノオペラ『ふなうた』／第2部 オペレッタ『時刻む人たち』)

2022年5月8日

Museum Concert ~映像を彩る調べ~ 於：光が丘美術館

2022年9月10日

李香蘭 Night 於：銀座クラシックホール

### ●協賛のお願い

今後とも Creative Garden は国内のアーティストによる公演事業を続けて、地域に還元をしていきたいと考えています。この活動への協賛をしてくださる個人様、法人様いらっしゃいましたら、Creative Garden “Core” 代表高橋までご連絡いただければ幸甚です。

協賛していただいた個人様・法人様に関しては広告の掲載などを行ふと共に、CM 動画作成などのお手伝いをさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



Creative Garden “Core”  
Chief Gardener (代表) 高橋悠之輔  
E-mail : creativepotekoda@gmail.com  
Tel. : 080-6550-7160



Creative Garden Tokyo の YouTube チャンネルです。  
チャンネル登録をよろしくお願ひします。